

2019年5月末・第2刷出来！

家をせおって歩いた

村上慧=著 佐々木暁=装幀

えっ、家が歩いてる!?

SNS・新聞・週刊誌で話題沸騰!!

小さな白い家を担いで移動生活をした美術家の1年間

2011年3月、友人と借りたアトリエの鍵を受け取った日に、東日本大震災と福島第一原発事故が発生。「僕たちは閉じ込められている」——3年後、若き美術家は自らのあり方を変えるため、「移住を生活」しはじめた……。本書は、発泡スチロールの白い家を担いで日本全国(関東・東北・中部・関西・九州)を歩きながら、絵を描き、人々に出会い、考えつづけた1年間(2014年4月~15年4月)の記録です。自らの足で歩き、生活したからこそ見えてきた日本の姿とは。

刊行当初から新聞・週刊誌等で話題となったあの「歩く家」の感動の記録が、最新の「あとがき」を追加して**待望の重版出来!**!



本体 2,000 円 + 税

304 頁 / A5 変形・ソフト上製

3 段組 / 196 × 140 × 30mm

ISBN : 978-4-909179-00-5 C0078

2017 年 4 月 刊



村上 慧

(むらかみ・さとし)

美術家。1988 年東京生まれ。武蔵野美術大学造形学部建築学科卒。著書に『家をせおって歩く かんぜん版』(福音館書店)、主なグループ展に「東アジア文化都市 2018 金沢 変容する家」(2018)、「瀬戸内国際芸術祭」(2016)、など。第 19 回岡本太郎現代芸術賞入選。

内容へのお問い合わせ、イベントのご相談は、
夕書房 (せきしょぼう)・高松まで
TEL: 090-6563-2762 info@sekishobo.com

ハマる人、続出!

これは現代美術版の「おくのほそ道」だ。

——古川日出男 (週刊朝日)

どのページにも実際に歩いた者でなければ見えない列島の細部が刻まれ、読み始めると止まらなくなる。

——港千尋 (共同通信配信)

この本を読むことがひとつのアート体験であり、何層もの複雑な面白さを持った本です。

——花田菜々子 (朝日中高生新聞)

若さゆえの無謀と瞬発力、繊細さや鈍感、著者自身の不器用さと純粹さが、ひしひしと伝わる。

——長島有里枝 (読売新聞)

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX: 03-3721-1922**

mail: info@tsubamebook.com
TEL: 03-6715-6121 http://tsubamebook.com

| | | |
|-----------|--|--------------------------|
| 貴店名 (番線印) | 夕書房 既刊 | http://www.sekishobo.com |
| | 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通: 川人 | |
| ご注文数 | <h1>家をせおって歩いた</h1> <p>本体 2,000 円 + 税 / 304 頁 / A5 判・ソフト上製 ISBN : 978-4-909179-00-5 C0078</p> | |
| ご担当: 様 | | |
| | 冊 | |